

第 32 回東京免疫フォーラム

The 32nd Molecular Immunology Forum Tokyo

日時：2024 年 3 月 26 日 (火) 13:00 開始

会場：東京大学医科学研究所 1 号館講堂 (参加費無料・事前登録不要)

《 開会挨拶 》 三宅 健介 (東京大学) 13:00-13:05

Session 1 宿主-微生物相互作用

座長：新藏 礼子 (東京大学)

竹内 直志 (スタンフォード大学・理化学研究所) 13:05-13:25

「腸管内代謝物に着目した宿主・腸内細菌ネットワークの解明」

光井 雄一 (東京医科歯科大学) 13:25-13:45

「肺胞マクロファージの個体間多様性に基づく COVID-19 の重症化メカニズムの研究」

Session 2 免疫系による自己認識とその制御破綻

座長：石井 健 (東京大学)

柴田 琢磨 (東京大学) 13:45-14:05

「TLR7/8 ストレス応答が誘導する組織球症の解明」

木村 彰宏 (国立国際医療研究センター) 14:05-14:25

「関節リウマチの病態形成における細胞外アミノアシル tRNA 合成酵素の作用機構」

若松 英 (東京医科大学) 14:25-14:45

「分子の挙動に基づく PD-1 の T 細胞抑制機序の解明と免疫チェックポイント阻害抗体の効果判定への応用」

<休憩・調整 15分>

Session 3 サイトカインシグナルと疾患

座長：久保 允人 (東京理科大学)

高橋 苑子 (理化学研究所) 15:00-15:20

「皮膚感覚神経に発現する STAT3 の重要性」

大瀧 夏子 (千葉大学・理化学研究所) 15:20-15:40

「IFN γ シグナルの恒常的減少が引き起こす肺線維症の自然発症機構の解明」

Session 4 公募講演

座長：谷内 一郎 (理化学研究所)

丸山 貴司 (東北大学・千葉大学) 15:40-15:55

「高病原性 Th17 細胞の実態解明」

佐々木 泉 (和歌山県立医科大学) 15:55-16:10

「小胞体ストレスセンサー IRE1 α は腹腔常在マクロファージにおける炎症性サイトカイン IL-1 β の産生誘導に必要である」

<休憩・調整 15分>

特別講演 1

座長：中島 裕史 (千葉大学)

久保 允人 (東京理科大学・理化学研究所) 16:25-17:10

「サイトカインと T 細胞に魅せられて」

<休憩・調整 10分>

特別講演 2

座長：堀 昌平 (東京大学)

吉村 昭彦 (慶應義塾大学) 17:20-18:05

「免疫寛容の分子機構と NR4a」

《 閉会挨拶 》 三宅 健介 (東京大学) 18:05-18:10

<懇談会> 演題終了後 於 医科研生協・白金ホール、参加費三千元 (学生無料)

【問い合わせ先】東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野 福井 竜太郎

E-mail アドレス：rfukui アット g.ecc.u-tokyo.ac.jp (「アット」を「@」に変換してメールをお送り下さい)